鉄鋼新聞　2016年4月14日掲載

ヒューテック・オリジン

ＣＣ向け「暗視照明装置」開発

油付き鋼板のキズ、正確に検出

コイルセンターや鋼板メーカー向け金属表面キズ検査装置などの製造販売大手であるヒューテック・オリジン（本社・香川県高松市）はこのほど、油付き鋼板における油下のキズ・スジを検出するとともに、油スジと鋼板自体にあるスジを正確に区別する「暗視照明装置」を開発した。

塗油された鋼板は、油膜があるため、キズが正確に検出できない場合があったが、これを解消する。熱延鋼板など錆のついた（黒皮）鋼板にも応用できるという。すでに暗視装置は製品化されており、このほど国内ＣＣ向けに第１号機を納入した。

ＣＣに対してエンドユーザーの品質要求はますます高度化しており、表面検査にも一層の高機能化が求められている。同社によると、「鋼板表面の油を検出せずに欠点のみ検出したい」「電磁鋼板の場合、凹みなどの欠点と穴あきを弁別したい」

微小な欠点の密集度を判定したい」「黒皮の下の欠点のみ検出したい」といった要求があるという。

同社は、こうした要求に対応するため、画像処理ボードのフィルターの補強・見直しなどに改善を加え、画像検査の基本になる照明について、新たに「暗視照明」を開発。油および錆の下にある鋼板本体のキズを正確に検出できるようにした。